



**平成23年度
大牟田市社会教育・生涯学習まちづくり
基礎調査研究報告書**

平成 23 年度大牟田市社会教育・生涯学習まちづくり基礎調査研究報告書 目 次

はじめに	1
------	---

第 1 章 調査研究の概要

1 調査研究の目的	3
2 仮説	3
3 調査の範囲	3
4 調査の方法	3
5 調査研究体制	4

第 2 章 調査の結果

1 学習成果の活用を支援するための意識調査（アンケート調査）	5
（1）調査の概要	5
（2）調査結果	6
1）生涯学習に関する考え方や自身の学習活動について	6
2）市が主催する講座やイベントへの参加・施設利用状況について	21
3）学習活動の成果について	28
4）ボランティア活動、地域活動について	31
5）ご自身のことについて（対象者の特性）	37
（3）アンケート調査結果から見えてくるもの	40
2 社会教育関係団体の活動支援基礎調査、社会教育関係団体に所属していない人の学習ニーズ調査（インタビュー調査）	43
（1）調査の概要	43
（2）調査結果	44
1）調査結果の概要（社会教育関係団体の活動支援基礎調査）	44
2）調査結果の概要（社会教育関係団体に所属していない人の学習ニーズ調査）	49
（3）インタビュー調査結果から見えてくるもの	53
3 考察	56

第 3 章 調査研究のまとめ ～調査結果を今後の実践に結びつけるために～

1 まとめにあたって	61
2 今後の社会教育・生涯学習の振興に向けて踏まえておくべき3つの視点	63
3 まちの資源（ひと、もの、こと）を生かした7つの取り組み	65

第4章 助言者より	75
-----------------	----

資料編

1 学習成果の活用を支援するための意識調査（アンケート調査）	
（1）調査票、ご協力のお礼とお願い	77
（2）各質問における「その他」の具体的内容	90
（3）集計表	91
2 社会教育関係団体の活動支援基礎調査、社会教育関係団体に所属していない人の学習ニーズ調査（インタビュー調査）	
（1）インタビュー調査実施一覧	140
（2）依頼文、班報告書様式	142
（3）インタビュー調査 調査員所感	146
3 主な経過	148

はじめに

近年の経済の発展に加え、科学技術の高度化、情報化、少子高齢化の進行などを背景として、生涯学習の振興の必要性和重要性は、ますます高まりを見せています。

国においては、時代の変化に対応すべく平成 18 年 12 月に教育基本法を改正しており、このなかで「生涯学習の理念」が新たな条文として盛り込まれております。

本市においても、大牟田市総合計画 2006～2015 後期基本計画、また、これと整合を図りつつ教育委員会が策定している本市教育の指針「教育施策の大綱」の中でも、生涯学習社会の実現は大きな課題であることを示しています。

本市ではこれまで市内に 7 つの地区公民館を設置したほか、青少年の野外活動の拠点施設として「多目的活動施設リフレスおおむた」や家庭教育・青少年教育を福祉部局と連携し取り組む「青少年教育等多目的施設（フレンズピアおおむた）」などの整備に取り組むとともに、図書館、三池カルタ・歴史資料館、文化会館などの社会教育・生涯学習関連施設の整備に努めてきました。

また、これらの施策や施設を通して社会教育・生涯学習の効果的な推進を図るため、「生涯学習まちづくり推進基本構想」をはじめ「青少年健全育成プラン」、「子ども読書推進計画」、「スポーツ振興計画」などの各種計画を作成し、体系的な振興に努めてまいりました。

このような中、これからの社会教育・生涯学習のより一層の推進を図るためには、これに関連する基礎データの的確な把握が欠かせません。そこで、教育委員会では本市における学習ニーズや活動実態などを明らかにし、今後の社会教育・生涯学習関連施策の企画立案に生かすとともに、今後取り組むべき事柄について調査・研究を行いました。

この調査・研究にあたっては、国の調査及び答申、研究者の論文等で述べられていることや、本市の実情をもとに「仮説」を立て、それを立証するために、学習ニーズや学習成果を生かした活動などについて、市民の意識を明らかにするアンケート調査と、社会教育関係団体に所属している市民及び、これらの団体に所属していない市民から、日頃感じていることなどを聞き取るインタビュー調査を行いました。

それらの結果を詳細に分析したところ、「仮説」が立証できたほか、「仮説」に掲げていなかった実態も明らかになり、それらを含めて有意義な取り組みであったと思います。

本報告書は、第 1 章「調査研究の概要」、第 2 章「調査の結果」、第 3 章「調査研究のまとめ」という構成にしています。第 3 章では、調査結果をふまえ、前述の各種計画に基づいて現在実施している各種事業等を振り返り、今後の実践に向けて取り組むべきことをまとめています。

今後は、この調査研究をふまえ、社会教育・生涯学習の振興に取り組みたいと考えて

います。

また、本市教育委員会だけでなく、本市で社会教育・生涯学習に取り組まれている多くの皆様に、本報告書が活用され、本市の社会教育・生涯学習の振興の一助となることを期待します。

最後になりましたが、この調査研究を進めるにあたり、ご協力を賜りました多くの皆様に深く感謝申し上げますとともに、協議していただきました社会教育委員の皆様及び助言をいただきました九州大学の岡幸江准教授に厚くお礼申し上げます。

平成24年3月

大牟田市教育委員会 教育長 宮田忠雄